

平成31年4月19日	
所 属	スポーツ推進課
所属長	荻田 昭憲
電 話	(06)4950-0406

市長表敬訪問

平成31年2月24日にエディオンアリーナ大阪で開催された「東洋太平洋・WBOアジアパシフィックミドル級タイトルマッチ」で勝利し、チャンピオンの座を獲得された野中悠樹選手（尼崎市出身）が、下記のとおり市長を表敬訪問されます。

記

1 日 時 平成31年4月24日（水） 午前11時～11時30分

2 場 所 市長室

3 訪問者 のなか ゆうき 野中 悠樹 選手（プロボクサー）

井岡弘樹ボクシングジム所属

1977年12月10日生（41歳）

戦績 46戦 33勝（10KO） 10敗 3分

現 OPBF 東洋太平洋・WBOアジアパシフィックミドル級チャンピオン

4 試合概要

(1) 試合名 東洋太平洋・WBOアジアパシフィックミドル級タイトルマッチ

(2) 期 日 平成31年2月24日（日）

(3) 会 場 エディオンアリーナ大阪

(4) 対戦相手 細川チャーリー忍（金子ボクシングジム所属）

(5) 試合結果 3-0で判定勝ち



プロフィール

プロボクサー

のなかゆうき

野中悠樹（井岡弘樹ホークキングジム所属）

1977年12月10日生 41歳

戦績 46戦 33勝(10KO) 10敗 3分

第29代日本スーパーウェルター級チャンピオン

第36代日本スーパーウェルター級チャンピオン

第27代OPBF東洋太平洋スーパーウェルター級チャンピオン

現OPBF東洋太平洋ミドル級チャンピオン

現WBOアジアパシフィックミドル級チャンピオン

略歴・経歴

1999年11月 プロデビュー戦 勝利。

2008年9月 日本スーパーウェルター級チャンピオン獲得。

2008年12月 OPBF 東洋太平洋スーパーウェルター級チャンピオン獲得。
東日本ボクシング協会月間敢闘賞受賞。

2009年11月 2冠王者陥落。

2010年9月 21戦無敗の世界7位ドミトリー・ニクーリン（ウクライナ）に勝利、WBAスーパーウェルター級10位にランクイン。直後、同級チャンピオン オースティン・トラウト選手（アメリカ）への世界タイトルマッチが内定するが練習中にアキレス腱断裂。

2012年11月 OPBF 東洋太平洋ミドル級8位 郭京暘（カク・キョンソク）

に勝利し復活をアピール。

2014年8月 長島謙吾（角海老宝石）選手に勝利し、4年9か月ぶりに同級（第36代）チャンピオンに返り咲く。

2014年12月 IBF世界ランカー チャーリー太田（八王子中屋）選手に勝利し、初防衛。

2015年4月 IBF世界ランカー 細川貴之（六島）選手と対戦し、2回目の防衛。

2015年11月 渥美ボクシングジムより 井岡弘樹ジムに移籍。

2015年12月 同級1位の指名挑戦者 斉藤幸伸丸（輪島S）を下し移籍後、初防衛に成功。

2016年4月、7月 同級1位の挑戦者を連破し防衛回数を伸ばす。

2016年12月 同級2位 切間庸裕（折尾）に最終回TKO勝利で6回目の防衛に成功。

2017年3月 世界王座に照準を合わせ日本タイトル返上

2017年10月 豪州で世界ランク上位を賭け、WBO世界ランカー デニス・ホーガン（豪）と対戦し、判定敗。

2018年4月 IBF世界2位決定戦に出場するも惜敗。

2018年8月 タイ国王者に快勝し、再起。

2019年2月 41歳2ヶ月でアジア ミドル級2冠王者に勝利し、国内男子 最年長王者記録を更新と同時にスーパーウェルター級に続き2階級制覇と自身計5冠目のタイトルを獲得し、悲願の世界挑戦に向け、更なる躍進を誓う。

以上